

燕労災病院の理念

働く人々と、地域の人々のために最善の医療を目指します。

病院の基本方針

安全で質の高い医療の提供を目指します。

勤労者の健康管理を支援します。

医療に関する教育・研修を支援します。

地域の人々の健康を守り、福祉に寄与します。

目次:

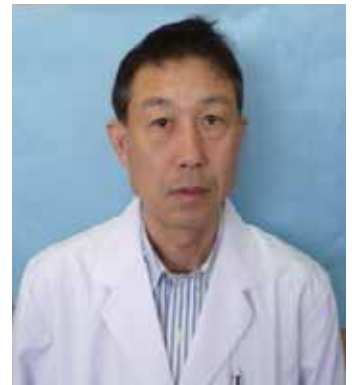
* 新任のご挨拶	1
* 院内研究発表会を開催	2
* 市民・勤労者医学講話を開催	2
* 各種おしらせ	3
* 編集部より	3
* 外来診療科別担当医師表	4

燕ろうさいつうしん

新任のご挨拶

脳神経外科部長 吉田 誠一

今年の4月より当院にお世話になっておりますが、これまで感じてきたことを一言述べさせていただきます。



この佐渡地区には、救急車のサイレンが止まず、蛙の鳴き声も可愛く聞こえるほどで、労災は正に急性期治療を主体とした野戦病院ですが、患者、家族との信頼された診療関係が構築され、コメデカルや地域の医療施設などとの連携が上手く機能していないとここまではまかなえません。幸い、病院内には治療が上手く行って通院されている患者さんにあふれ、こちらが恐縮するほどのお礼の言葉をいただく機会も多くありました。上手くいかなかったケースも皆でカバーして支え合い、病院スタッフ一丸となって期待に答えようとする姿勢が強く伝わってきます。

また、急性期の治療を終え、医療難民目前の人たちをカバーしていただく後方病院にも恵まれています。医療の効率化が叫ばれ、我々は、より多くの患者をより短期間に診断・治療を行い、より高い要求に答えなければならなくなりました。社会構造の変化に伴い、チーム医療としていろんな職種を超えた到達目標に向けた地域連携プレーも大切になってきました。1人ひとりの患者さんに合った適切な医療を行うにはこうした課題に加え、医療コストの問題なども絡んだ総合的な判断が必要とされます。

残念ながら、こうした問題の解決にはこれまで受けてきた医学教育だけでは全く歯が立たず、医学・医療とともに社会環境にも軸足をおいた医療が要求され、我々を取り巻く環境は年々厳しくなっております。しかし、そのような状況にあるからこそ、医療に携わる者すべてが前向きに楽しく仕事に専念でき、大きな夢を持って活躍できるような環境整備も大切です。

これまであまり考えてもみなかった取り組むべき課題が山積していることにも気づきました。

まだ、あまり熱いメッセージは送れませんが不平不満で終わる事なく、今後も継続して、信頼に基づいた温かい医療を提供できるよう微力を尽くしたいと考えております。

【第29回 院内研究発表会を開催しました】

6月28日(火)の午後5時半から、第29回院内研究発表会を開催しました。全11題の研究発表に多くの職員が参加し、熱心に聞き入っていました。

発表内容(一部抜粋)

- ・緊急時の頭部MRI撮影プロトコルの検討
- ・筋萎縮性側索硬化症と告知された患者の思いを知る
- ・癌患者の倦怠感に対する看護【保湿剤を使用したマッサージの効果】
- ・イリノテカン投与患者の好中球減少に対する抗生剤併用の影響(薬剤部)
- ・当院における外来糖尿病療養指導【インスリン使用患者の現状と安全対策】
- ・当院におけるがん化学療法レジメン管理と薬剤師のかかわり【FileMakerRPro10を用いた患者別レジメン履歴データベースの作成】 etc.

当院では毎年院内研究発表会を開催し、職員の知識・技術の向上を図っております。

今後も地域に貢献できる病院を目指し、職員一同努力してまいりますので、よろしくお願いいたします。



【市民・勤労者医学講話を開催しました】

7月5日(火)の午後6時半から、燕労災病院外来ホールで呼吸器内科部長丸山佳重先生による医学講話「肺がんについて」が開催されました。

肺がんの原因としては、一般的にたばこが原因といわれています。癌の死亡者では男性が1位、女性は2位となっています。

タバコを吸う人でかかりやすい疾患は、慢性閉塞性肺障害(COPD)や脳梗塞・心筋梗塞等があるそうです。

また、次のような症状がある方は我慢せず、お近くの病院等で受診をと、説明されていました。

我慢してほしくない症状

- ・38度以上の発熱
- ・汚い痰(黄色や膿性、血痰等)
- ・呼吸困難、息切れ
- ・激しい痛み(からだのどの部分でも)



このような症状がある時には、我慢せずに近くのお医者さんへ受診を！！

次回は9月6日(火)に「糖尿病について」を予定しております。ご聴講は無料ですので、この機会に是非お越し下さい

【各種おしらせ】

腎・透析内科に医師が赴任いたしました

ひろせ しんたろう

長らく常勤医師不在となっております腎・透析内科に、廣瀬 慎太郎部長（平成2年卒）が平成23年7月1日付けで赴任いたしました。

今後も地域の皆様に貢献できる病院を目指して努めてまいりますので、よろしくおしいたします。



ストーマ外来日時変更のご案内

8月からストーマ外来の日時を次のとおり変更いたします。皆様にはご迷惑をおかけするかもしれませんが、ご理解とご協力を宜しくおしいたします。

- ・ 外来日時：第2・第4火曜日 8時30分～12時30分
（1人につき45分、予約制）
- ・ 内容：皮膚・排泄ケア認定看護師による相談・指導
（例えば……ストーマケアで困っていることがある
ストーマケアの方法を再確認したい
新しいストーマ装具の情報を知りたい など）

ストーマケア相談をご希望の方は、下記までお問い合わせください。

- ・ Tel : (0256)64-5111 PHS 626
- ・ E-Mail : wocn.2009@tsrh.jp
皮膚・排泄ケア認定看護師 三須 恵美子



熱中症にご注意を！

ポイント1

服装...通気性の良い洋服を着る。

ポイント2

こまめに水分補給...「喉が渴いたと感じたときには、すでにかなりの水分不足」特に夏場は汗と一緒に塩分が失われるため、スポーツドリンクなどがおすすめ。

もし、熱中症になってしまったら...

- ・ 涼しい日陰やクーラーの効いた室内などに移動する
- ・ 衣類をゆるめて休む
- ・ 体を冷やす.....氷や冷たい水でぬらしたタオルを手足に当てる。無い場合はうちわや衣類などを使ってあおぎ、風を送って冷やす。
- ・ 水分を補給する



【編集部より】

まだ蒸し暑い日々が続きますが、夏はもう間近です。今年初の冷やし中華食べましたか？飲食店・コンビニエンスストアなどで「冷やし中華」を目にするようになってきました。

夏の食べ物の代表の一つですね

これを食べてこれから来る暑い夏を乗り切りましょう（記：○）

